# 経営比較分析表(平成29年度決算)

### 大阪府岸利田市 岸利田市民病院

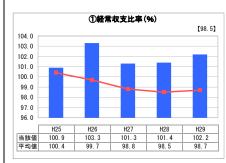
AMAINTHE PARENTANE					
法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報	
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上~500床未満	非設置	
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2	
直営	32	対象	透Ⅰ訓ガ	救臨が地輪	
人口(人)	建物面積(㎡)	不採算地区病院	看護配置		
196 871	30 575	非該当	7 · 1		

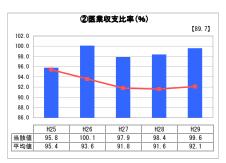
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)	
400	Î	ı	
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)	
-	=	400	
稼働病床 (一般)	稼働病床(療養)	稼働病床 (一般+療養)	
394	=-	394	

- グラフ凡例
- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均值(平均值)
- 【】 平成29年度全国平均

- ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療
- ※2 教…教急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

## 1. 経営の健全性・効率性









「経常損益」

「医業捐益」

「累積欠損」

「施設の効率性」









「収益の効率性(1)」

「収益の効率性②」

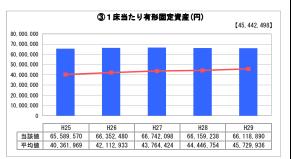
「費用の効率性(1)」

「費用の効率性②」

## 2. 老朽化の状況







「器械備品の減価償却の状況」

「建設投資の状況」

# 地域において担っている役割

①高度急性期、急性期病院として、24時間365 日体制で救急医療を実施。また、輪番制で小児救 急医療を実施。

②国指定の地域がん診療拠点病院として、専門 的で質の高いがん医療を提供。

③地域医療支援病院として、地域医療連携の強 化及び地域医療の充実化を図っている。

④臨床研修病院として、専門医制度の内科領域 基幹病院としての役割を担う。

## Ⅱ 分析欄

#### 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は102.2%で前年度より上昇、黒 字経営を維持している。医業収支比率も前年度よ り上昇しており、医業活動により収支の向上が図 られている。累積欠損金比率は毎年減少し、類似 病院平均値と比較しても低くなっている。

医業収支比率は前年度より上昇したが、職員給 与費対医業収益比率は低く、類似病院平均値と比 較しても低いことから、職員の適正配置がなさ れ、効率よく診療収入が得られている。

1人1日当たりの入院・外来収益は上昇傾向にあ り、類似病院平均値と比較しても高い水準を維持 している。材料費対医業収益比率が前年度より大 きく伸び、類似病院平均値よりも高くなっている が、高額な抗がん剤の使用による薬品費の増加に よるものであり、外来収益の伸びにつながってい

## 2. 老朽化の状況について

新病院開設から20年以上経過し、医療機器や施 設設備の老朽化が顕著になっている。有形固定資 産減価償却率及び器械備品減価償却率は年々増加 しており、類似病院平均値と比較しても高いが、 経常収支比率が100%を超えているため、経常収 益で投資を賄うことができている。

1床当たり有形固定資産の割合は減少傾向にあ るが、類似病院平均値に比べ高くなっている。32 診療科を有し高度専門医療を提供しているため高 度医療機器の更新が欠かせないこと、実情に即し た医療を提供するため、必要に応じて増改築を 行ったこと等により、類似病院平均値よりも高く なっていると考えられる。

## 全体総括

平成29年度決算は、経常収支比率、医業収支比 率ともに前年度より上昇し、安定した病院経営を 行うことが出来ている。一方で、過去の企業債借 入の償還により、平成29年度決算で資金不足に 陥ったため、より一層効率的な運営を行い、増収 に努める必要がある。

また、類似病院平均値と比較して固定資産の減 価償却率が高く、老朽化への対応が急務となって いるため、施設・設備に関しては、平成29年度か ら5年計画で重点的に改修を進めている。投資計 画については優先順位の見直しを行い、企業債借 入計画の適正化と合わせて再度検討を行う必要が ある。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。